

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成30年8月20日発行

No.127



(和智埜神社祭礼 撮影者:平野かほり)

200年程前から修理を重ねて守り続けられている妻籠の御神輿。

今年また塗装や金具磨き等のお直しを終えてお披露目になりました。

江戸時代から現代まで大勢の手で伝えられている大切な文化です。

小笠原 美雪

(公財)妻籠を愛する会新体制開始 新三役が語る！

理事長 藤原 義 則

前任理事長小林俊彦氏の後を受けて6月12日付で理事長に就任しました。荷が重いわけですが精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

私が社会へ出た年の昭和41年、妻籠宿保存計画を住民が理解するため飛騨の高山市へバスを貸し切り、多くの人々が視察研修に行ったのを思い出します。バスの中で伊勢屋の先代のおじいさんが高山の町について熱く、説明をしてくれました。当時の頃の思い出を語る事が出来る人が少なくなりました。

明治100年記念で長野県の事業に採択され、妻籠宿保存のための修復工事が寺下地区で始まり50年。県境の僻地で学校を卒業すると、名古屋、東京、大阪へと就職で多くの同級生がこの地を離れました。妻籠宿がマスコミで話題になり、妻籠・妻籠と多くの観光客が訪れ観光の関連施設が出来、家屋が修理、修景され今日の景観が現れ半世紀になります。

昨年度は馬籠峠を越えるハイカーが5万人に手が届くようになり、その内アメリカ・オセアニア・ヨーロッパの人々が半数以上になりました。またバスで来る外国人も25%を上回り正に国際観光都市です。片言のカタカナ英語で話をするのも楽しいものです。

宿場町と街道は切っても切り離せない関係にあり、多くの旅人が自らの足で歩いたこの道を今自分達も歩いている。大径木、透き通った谷川の水、大きな滝、小さな祠、土の道、素朴な風景の中を、日本の歴史と文化に触れながらハイキング出来る。こんな所が残され、保存されている、素晴らしい所だ!この景観はきちんと守ってほしいと言われ、なぜユネスコに指定しないのか?と問われます。

諸先輩が議論してこの環境を守ると宣言してから50年、日本の多くのところが開発、近代化、車社会で利便性のために消えてなくなり、その復元に力を入れているが雰囲気醸成は時間と地域の努力を要します。幸いにして妻籠宿はその行動を始めて半世紀の歴史と土壌があります。これを大切にしながら次の世代へ繋げたいと思います。どうぞご支援ください。



副理事長 藤原 和 年

「(公財)妻籠を愛する会50周年」を祝う事は、私の人生において一つの目標でありました。今、この感動を共有できる人が何人いるでしょうか。

妻籠の歴史を語るのに、私の見てきた歴史は短すぎるかもしれません。しかし、これからの妻籠を背負う人たちと、これからの妻籠を語り合うことができたなら、今までの人生も無駄ではなく、意義のあるものであったと感ずることが出来る。そんな気持ちで、副理事長を受けました。

妻籠の集落保存が受け継がれていく事は、かかわった多くの人だけでなく、住む人、訪れる人、情報として見聞きする人、それぞれに意義のある、価値のある事と信じています。

「売らない 貸さない こわさない」この言葉は世界中で、妻籠でしか生きられない言葉ではないかと思うのです。



〈5月には駐日米大使一家も歩かれ、SNSで発信されました〉

常務理事 今井 啓文

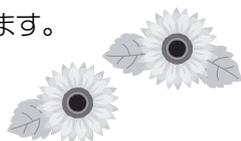
過疎に直面する集落で保存が始まってから50年が経過しました。

バブルの時代は全てが異常であったのですが、当時の国鉄の旅行ブーム、新日本紀行など多くのマスコミに取り上げられ、アンノン族で賑わい、一時は90万人とも言われた入込み数も、旅行スタイルの変化や多様化などにより減少しています。

しかし、世界各国から沢山の外国人が中山道や町の中を歩く姿を誰が想像したでしょう。その間、町並み保存の先駆者として全国の町並みや文化を見直し、保存するきっかけとなった功績は間違いないと思います。50年の歴史の中で、その時その時の問題を抱え乗り越えて、又は何もできなくてそのまま来た事も沢山あったと思います。この地において、大きな商いをするわけではなく、地道な生活をしながら土地の文化に溶け込んでいく日常生活を継続してこられたのは、長続きできる内容や価値があったからだと思います。

よく規則が有るから駄目だと言うけれど、大相撲や歌舞伎などの伝統や法律でさえそうであるように、その時代に合わせ考え、改良しなければ時代を超えて続いていけない。いつの時代にもその時の問題はあるけれど、地域・行政・観光などの団体が調和し、成長し、持続性のある仕組みづくりの足元を固められればと思います。

ご意見、お力添えをお願いします。



【今回理事の任期満了による交代があり、以下のとおり各組織の構成に変更がありました。評議員・監事につきまして、今回改選はありません】

〈理事会(11名) 任期:2年〉

理事長:藤原 義則

副理事長:藤原 和年

常務理事:今井 啓文

理事:松瀬 博敏(総務委員長)

平田伊知郎(環境保全委員長)

原 信之(文化広報委員長・広報部)

松下 達也(文化広報委員会・広報部)

松田 智(総務委員会)

横山 純(総務委員会)

亀山 弘司(総務委員会)

亀山 和美(環境保全委員会)

【理事改選に伴い各委員会のメンバーに変更がありましたのでお知らせいたします】

※◎委員長、○副委員長

〈総務委員会:10名〉

◎松瀬博敏、○横山純、

松田智、亀山弘司、伊藤伸三、山内勉、

加藤洋子、内藤米康、鈴木富子、松下武

〈統制委員会:8名〉

◎宮下朋之、○下條廣一

松瀬博敏、石垣八十志、新井新作、磯村邦章

三浦良道、麦島忠良

〈文化広報委員会:7名〉

◎原信之、○松下達也

木村和恵、小笠原美雪、今井好紀、

伊藤由美、松井美津代

〈環境保全委員会:11名〉

◎平田伊知郎、○郷原二三男

藤原和年、亀山和美、下枝正敏、嵯峨巨志、

磯村正義、村田次夫、佐藤利彦、伊藤正博

原修己

今年も外来植物駆除講習会が開催されました!

木曽風景街道推進協議会主催の外来植物駆除講習会が、7月19日に木祖村で開催され、愛する会からは理事長が参加しました。



今年も晴れました！ 第38回南木曾町・妻籠健康マラソン 2018年6月3日(日)

愛知県 10km 鈴木 幹三・純子

初めて南木曾健康マラソンに出たのは、ちょうど20年前でした。当時参加費が1,000円と格安で、職場の人たちを誘って参加しました。

初夏の若葉が生い茂るなか、爽やかな風を受けながら走った後の地ビール、露天風呂が最高で、このマラソン大会に出場するのが仲間たちの間で恒例になりました。

今回は妻と友だちと参加し、仮装して走ったところ、沿道の方たちから「可愛いよ」とか、妻籠宿では観光に来ていた外国人からも「ブラボー」と声を掛けてもらいました。

辛い坂道も、上れば次は楽な下りです。沢山の声援を受け、ラストスパートしてゴールしたところ、「大会盛り上げ仮装賞」をいただき、感激!還暦を過ぎた妻は、「健康大賞」までいただきました。

走れる喜びを胸に、健康に留意し、ユーモアを忘れず、私も75歳以上の男性に与えられる「健康大賞」を目指したいと思います。妻は孫と一緒に3.5Km ペアに出たいと言っています。

毎回この大会に参加し、大会を支えるスタッフ、南木曾町の方々のおもてなしを受け、感謝しています。また来年も、私の一番好きなこの大会に参加いたします。皆様もお元気で!



〈友人と参加しました〉



愛知県 10km 足立 直仁

走ることに出会ってちょうど一年になります。旅行などで何回も訪れたことがあり、南木曾・妻籠健康マラソンがあることを知ってエントリーさせていただきました。

「仮装して古い町並みや景観を楽しみながら走る」って当日を楽しみにしていましたが、いざ走り出したらいきなりの上り坂に足が悲鳴を上げてしまい、「この先大丈夫」って感じながら走っていたのですが、沿道の声援や心遣いに後押ししてもらい、完走できました。

今回は初めて仮装だったので、若干恥ずかしいって気持ちもありましたが、仮装している方々と一緒に写真を撮ったり、衣装のマル秘話で盛り上がりたりしてとても楽しい時間を過ごせました。仮装の景品をもらった時に「盛り上げてくださってありがとう」という係員の言葉が心に響きました。終わってから、73歳のおじさんと健闘をたたえあい、「若いんだからもっと頑張らない」と言われながら今日のマラソンを語り、『走る』っていうキーワードでたくさんコミュニケーションをとれました。

まだ数回しかレースに参加していない私ですが、地元の方の温かい声援やおもてなし、町をあげて成功させようとする気持ちが伝わり、今まで参加したレースで一番の思い出になり、来年も再来年も参加していこうと思っています。温かい声援を送ってくれた町民の皆様およびボランティアの皆様本当にありがとうございました。



〈あと少しで宿場の中だ!〉

〈← 陣屋太鼓はふれあい館前で応援〉

渡島 3.5km 古根 逸

今年、娘が小学校一年生になったことを機に、数十年ぶりに参加しました。娘の付き添いというのを口実に、スタートからゆっくり娘が走ってくるのを待ちながら走りましたが、いつになっても娘の姿は見え、後ろを何度も振り返り、たくさんの小学生に追い抜かれ、「これじゃあ怪しいおじさんだ」と恥ずかしい気持ちにもなりながら、体力と相談しつつ走っていると、ようやく残り1km付近で娘の姿が。これで親子そろって感動のゴールだと思ったのも束の間、娘は「じゃーねー」と言い放ってダッシュ…。そのスピードについて行ける余力もなく、娘の同級生を捕まえ、これなら一人むなしくゴールしなくて済むと安心して走りました。

本来なら初めてのマラソンで、弱音を吐きながら走る娘を励ましながらゴールする予定だったのに…と思いつつも残り数百メートル。「もう少し頑張れ!」と隣を走ってくれた小学生に声を掛けた瞬間、またも「じゃーねー」と言い放たれ…。結局一人むなしくゴールしました。

思い返せば、娘を心配しながら走ったわけですが、その心配はまんまと裏切られ、逆に娘の成長を感じることが出来ました。これをきっかけにマラソンに目覚めるとまではいきませんが、来年も娘と参加したいと思います。



〈スナフキンがんばって〜!〉



〈寺下を駆け抜ける小学生〉



〈それぞれにひた走る古根親子〉



〈宿場内で声援を受ける選手たち〉



〈強力おじさん〉

特定外来植物駆除作業について

環境保全委員長 平田 伊知郎

2年ほど前から特定外来植物駆除作業に関わらせて頂いています。以前は知識も見分けもなく、景色の中にある黄色い花というだけの認識でした。ところが、知ってみるとその強靱な繁殖力をもって在来種を駆逐し続け、生態系にも悪い影響を出すというとても厄介な代物でした。いや、恐ろしい。主にオオキンケイギク（開花5～7月）オオハンゴンソウ（7～10月）セイタカアワダチソウ（9～11月）いずれも北アメリカ産、かつて観賞用・蜜源として人の手によって持ち込まれたそうです。その当時は良かれとした事が後に害悪となる。人間は環境に対して余計なことばかりする生きものだとつくづく感じてしまいます。わずかでも罪滅ぼしができるなら、と思うのですが。

駆除作業に従事してみると、その大変さが沁みます。場所によっては茎が木のように堅く、背丈もゆうに2mを超すオオハンゴンソウが群生しており、トンガで深く根を掘り起こすだけでも四苦八苦。その後大量に運んでの焼却処分など、手も目方もかかるそれはそれは重労働です。今の組織規模では発生にとっても追いついていかない現状があります。

まずは、自分が率先して行動してゆくなかで、仲間や同世代や地域の人たちに参画を促していければと思います。いや、しなければ世の中が黄色一色になります。真っ黄っ黄。やだな～真っ黄っ黄（笑）トンガ片手に草むら分け入って、根気よくがんばります！



妻籠宿案内人の会 活動状況について

妻籠宿案内人の会会長 野田 覚

妻籠宿案内人の会員は13名で、年齢の平均はほぼ後期高齢者の域に達しましたが一同元気に活躍をしています。

平成29年度の案内回数は344回で、9割方が宿場内ですが、3時間をかけて妻籠宿⇄馬籠宿、1時間半の南木曾駅⇄妻籠宿もあります。宿場内の案内は、30分 45分 60分 90分の4コースが設定されていますが、ほとんどが本陣や脇本陣に入らない、30分コースです。30分の中で、たくさんの事を伝えたいのですが、お客様も案内人も高齢化しており時間内の案内には一工夫をしなければと思っています。案内の人数は、1人～45人と幅があり、多人数の時は小型のマイクが常備されており大きな声を出す心配はありません。宿場内の案内料金は、1500円を頂いており、案内の受付は、（公財）妻籠を愛する会にお願いをしています。

案内の技量を向上させる為に、宿場の歴史や木曾の日本遺産の勉強会を3回位／年実施、秋には他の重伝建地区をガイドさんに案内して貰う日帰り研修、全国町並みゼミ大会、木曾のガイドさんの井戸端会議、妻籠冬期大学講座、木曾風景街道推進協議会による中山道視察研修等に参加し見聞を広めて、お客様に満足して頂ける案内が出来るよう、研鑽をしなければと努力をしています。

***** 妻籠宿の案内人が足りません!! *****

話好きな方、歴史に興味がある方、是非入会をお待ちしています!



宿 場 暦

- 5月 3日：長野朝日放送撮影（～4日）
 8日：南木曾商工会総会（常務）
 10日：理事会
 13日：テレビ愛知撮影
 16日：信州豊かな環境づくり県民会議総会
 （長野市・常務）
 17日：木曾観光地づくり戦略PJ会議（上松町・常務）
 18日：テレビ朝日撮影
 20日：平成30年度第1回観光パラメータ調査、
 広報126号発行
 21日：統制委員会
 22日：ナショナルトラスト常任理事会（東京・常務）
 23日：妻籠地区地域振興協議会（常務）、
 テレビ朝日撮影
 24日：木曾観光地づくり戦略PJ会議（上松町・常務）
 25日：木曾風景街道推進協議会総会
 （木祖村・2名参加）
 26日：駐日米大使来宿（～27日）
 29日：テレビ信州撮影
 30日：評議員会
- 6月 1日：ナショナルトラスト理事会（東京・常務）
 2日：松本大学来宿
 3日：第38回南木曾町・妻籠健康マラソン大会
 4日：材木沓伐り駆除（環境保全委員・9名参加）
 6日：五月人形片付け（観協）
 9日：第5回北信越町並みゼミ高田大会
 （上越市～10日・常務）
 11日：観光地づくり戦略PJ会議（木曾町・常務）
 12日：理事会
 14日：観光地づくり戦略PJ会議
 （木曾町開田・理事長）
 16日：ナショナルトラスト総会（東京・理事長）
 18日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会
 （理事長・常務）
 20日：統制委員会
 21日：一石柘草刈作業
 22日：評議員会
 24日：三役会（正副理事長・常務）
 25日：観光地づくり戦略PJ会議
 （上松町・理事長）、広報部会
 26日：一石柘草刈作業
 28日：三役就任挨拶回り
 （官公庁・正副理事長・常務）
- 7月 2日：役員合同慰労会（新旧役員・各委員会委員）
 3日：観協役員会
 9日：オオハンゴンソウ駆除作業
 （環境保全委員会・16名参加）

- 12日：観光地づくり戦略PJ会議
 （木曾町・理事長）
 17日：一石柘草刈作業
 18日：南木曾地域産業労働安全大会（3名）、
 妻籠宿案内人の会世話人会・学習会
 19日：木曾風景街道推進協議会特定外来植物
 駆除講習会（木祖村・理事長）
 20日：統制委員会
 23日：和智埜神社祭礼（～24日）
 24日：大江戸温泉物語ホテル木曾路内覧会
 26日：名工土木城山整備作業
 27日：妻籠宿保存地区保存審議会
 （理事長・常務）
 28日：木曾あずさ号南木曾着（29日発）
 29日：妻籠愛友会草刈作業

統 制 委 員 会 審 議 事 項

- 5月21日
 ・国有地境界点検時の目印（森林管理署：下り谷） 1件
 ・木造テラス屋根修繕（尾又） 1件
 ・住宅新築（渡島） 1件
 ・蘭川発電所導水路開渠部の周辺防護柵修繕
 （関電：吾妻橋） 1件
 ・低圧引込線新設（中電：吾妻橋） 1件
 ・配電線設備の保安伐採（中電：軽便道） 1件
 ・その他：4件
 4月保留分、群状択伐（関電：雨天順延分）他
- 6月20日
 ・平成30年度重伝建事業（寺下） 1件
 ・玄関庇設置（渡島） 1件
 ・車庫新築（恋野） 保留
 ・通信ケーブル新設（NTT：町営第2P） 1件
- 7月20日
 ・道路法面の立木伐採及び枝払い
 （蘭川左岸：建設業協会） 1件
 ・仮現場事務所設置（明電舎：クリーンセンター内） 1件
 ・住宅新築（渡島） 保留
 ・配電線設備の保安伐採（中電：下町） 1件
 ・建設工事用電源への電力供給対策工事
 （中電：リニア関連） 1件
 ・道路防災工事：モルタル吹付工事（県：上在郷） 1件
 ・群状択伐（関電：18箇所） 1件
 ・倉庫増築（和智埜神社） 1件

発行：公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

和智埜神社の御神輿 40年ぶりの大修理！



和智埜神社役員代表 今井好紀

秋の訪れを感じつつもまだまだ残暑厳しいなか、神社氏子ならびに妻籠地区住民の皆様におかれましては、御健勝にお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

さて、この度の和智埜神社御神輿の40年ぶりの大修理に際しまして、皆様方の温かい賛同とご厚志をいただきました事、心から御礼申し上げます。

また、この大事業にあたりまして、妻籠夏祭り実行委員会の並々ならぬ御理解と御協力をいただきました事を氏子の皆様に報告し、あらためて深く御礼申し上げます。

おかげを持ちまして、今年の夏祭りは新しく生まれ変わった御神輿を住民の皆様に見ていただいた事、心から感謝し喜びとしていただいております。

この事業を進めていく中で、強く思った事があります。それは氏子-住民の皆様が私達の鎮守様である和智埜神社をいかに大切に思っているかということと、未来永劫守っていくんだと思う心を強く感じたことです。

この、皆様の気持ちを胸に私たちお宮役員一同心を一つにして、和智埜神社を祀りお守りし伝統あるお祭りを執り行っていこうと改めて意を強くしたところでございます。

今後とも妻籠の皆様の変わらぬ御協力と御指導をお願いし、御礼と御報告といたします。



〈7月8日：修理を終え和智埜の森へ帰ってきました〉



〈7月23日：大妻籠お披露目〉

